

2012年1月31日

各位

オリックス株式会社  
(コード番号: 8591)

**2012年3月期 第3四半期連結決算(4月～12月)**  
**当期純利益は前年同期比35%増の688億円、3期連続で増益**

2012年3月期第3四半期累計期間(2011年4月1日～2011年12月31日)の米国会計基準連結決算における営業収益は前年同期比3%増の7,146億円、税引前当期純利益は同36%増の1,025億円、当期純利益は同35%増の688億円と、3期連続で増益となりました。

なお、当期純利益は、通期の連結業績予想775億円に対しておよそ89%の進捗となりました。

主な経営指標の推移

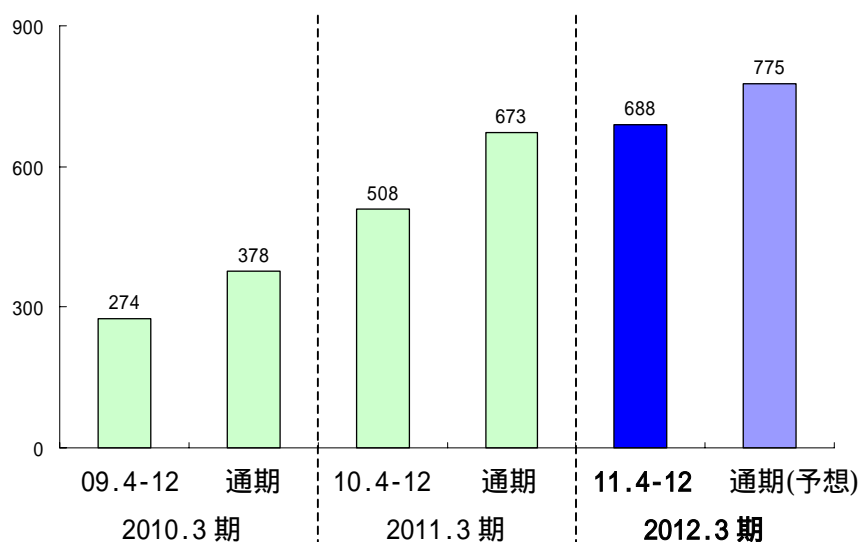
	2010.4-12	2011.4-12	増減率
営業収益	6,956 億円	7,146 億円	3%
税引前当期純利益	752 億円	1,025 億円	36%
当期純利益 ( )	508 億円	688 億円	35%

	2011.3	2011.12	増減率
総資産	85,816 億円	81,946 億円	5%
セグメント資産	61,428 億円	59,224 億円	4%
株主資本 ( )	13,193 億円	13,576 億円	3%
株主資本比率	15.4%	16.6%	-

( ) 「当期純利益」「株主資本」は、決算短信などの財務諸表に記載している「当社株主に帰属する四半期当期純利益」「当社株主資本合計」を記載しています。「株主資本比率」は、当該株主資本合計を用いて算出しています。

『当期純利益の推移』

(単位: 億円)



## 各セグメントの業績概要（2011年4月1日～2011年12月31日）

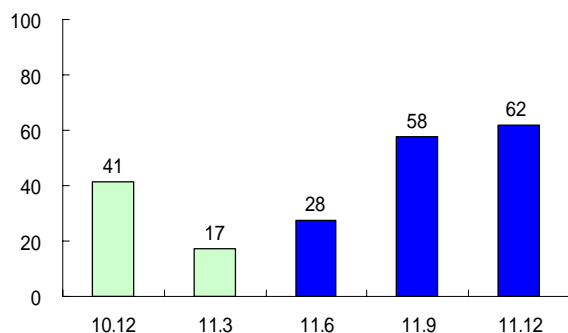
当第3四半期累計期間のセグメント利益は、前年同期と比較すると、「不動産事業部門」「リテール事業部門」を除き、各セグメントで増益となりました。

「法人金融サービス事業部門」「事業投資事業部門」は、前年同期比で大幅に増益となるとともに、「海外事業部門」が引き続き高い利益水準を確保しています。

### 【法人金融サービス事業部門】

融資、リース、金融商品販売などの手数料ビジネス

< 四半期セグメント利益 > (単位：億円)

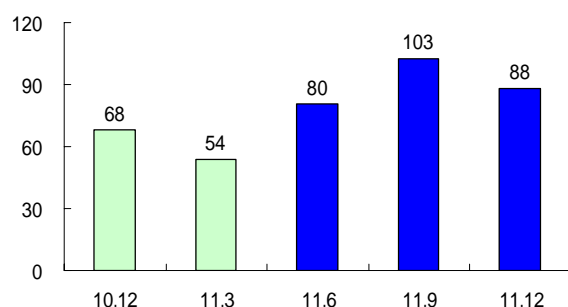


- ・ 新規実行高が増加し、リース収益や手数料収益が堅調に推移。
- ・ 貸倒引当金繰入額や支払利息が減少。
- ・ 当第3四半期累計期間のセグメント利益は、前年同期比 77% 増の 147 億円を計上。

### 【メンテナンスリース事業部門】

自動車リース、レンタカー、カーシェアリング、測定機器・情報関連機器などのレンタルおよびリース

< 四半期セグメント利益 > (単位：億円)

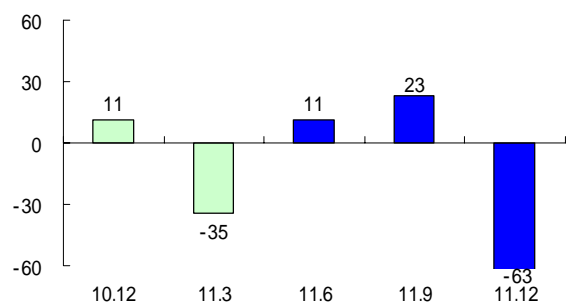


- ・ 高付加価値サービスに加え資産売却益や再リース収益により、収益は高水準で安定。
- ・ 新車供給不足は上半期で解消され、新規実行高や資産残高は安定的に推移。
- ・ 当第3四半期累計期間のセグメント利益は、前年同期比 30% 増の 271 億円を計上。

### 【不動産事業部門】

オフィスビル・商業施設などの開発・賃貸、マンション分譲、ホテル・ゴルフ場・研修所などの運営、高齢者向け住宅の開発・運営、不動産投資法人 (REIT) の資産運用・管理、不動産投資顧問、不動産ファイナンス

< 四半期セグメント利益 > (単位：億円)

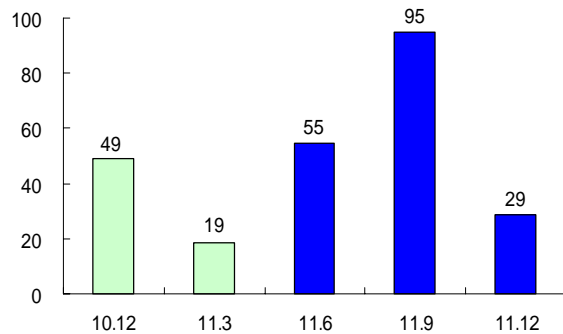


- ・ 不動産賃貸収益、手数料収益、運営事業収益が堅調に推移。
- ・ 長期性資産評価損や不動産販売原価が増加したことによりセグメント費用が増加。
- ・ 当第3四半期累計期間のセグメント利益は、前年同期の 35 億円の利益から 29 億円の損失に。

### 【事業投資事業部門】

サービス（債権回収）、プリンシパル・インベストメント、M & A アドバイザリー、ベンチャーキャピタル、証券業、環境エネルギー関連ビジネス

< 四半期セグメント利益 > (単位：億円)

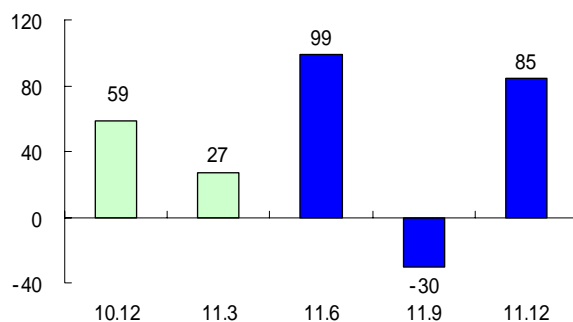


- ・ サービス事業による回収益や手数料収益が堅調に推移。
- ・ ㈱あおぞら銀行の株式売却による有価証券売却益を計上。
- ・ 当第 3 四半期累計期間のセグメント利益は、前年同期比 57% 増の 178 億円を計上。

### 【リテール事業部門】

生命保険、銀行、カードローン

< 四半期セグメント利益 > (単位：億円)

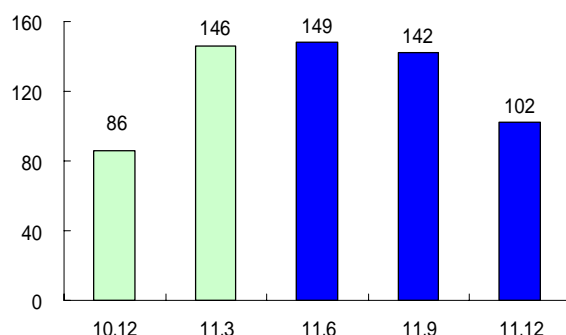


- ・ 生命保険事業ならびに銀行事業は、新規契約が順調に伸長し、収益、利益ともに拡大。
- ・ 持分法適用関連会社のマネックスグループ㈱の株式評価損を計上。
- ・ 当第 3 四半期累計期間のセグメント利益は、前年同期比 27% 減の 153 億円を計上。

### 【海外事業部門】

リース、融資、債券投資、投資銀行、不動産関連、船舶・航空機関連

< 四半期セグメント利益 > (単位：億円)



- ・ アジアのリース収益が安定的に増加し、自動車や航空機関連収益も順調に伸長。
- ・ 米国では手数料収益や地方債売却益が堅調に推移。
- ・ 欧州地域におけるエクスポージャーはほとんどなく、欧州財政問題による直接的な影響はなし。
- ・ 当第 3 四半期累計期間のセグメント利益は、前年同期比 27% 増の 393 億円を計上。

オリックスグループは、「常に新しい価値を創造し、進化しながら成長する」という経営方針のもと、多角化したポートフォリオによる事業展開を軸としながら、金融に専門性を結びつけた「金融+サービス」事業をさらに加速化させるとともに、アジアなど新興国の成長を取り込むことで、収益力の強化を図ります。

詳細は、当社ホームページにて掲載の決算短信および決算補足資料をご覧ください。

URL : <http://www.orix.co.jp/grp/ir/settlement/>

以上

< 本件に関するお問い合わせ先 >

広報部 池田・堀井 / 経営企画部 IR チーム 藤井・原

TEL : 03-5419-5102